

コスキン市・川俣町姉妹都市締結式 参加報告

宍戸 和郎

クリスマス気分が盛り上がりつつある12月19日夕刻、元麻布にあるアルゼンチン大使公邸を訪れました。

この日、アルゼンチン、コルドバ州コスキン（COSQUIN）市と福島県川俣町との間で姉妹都市協定の締結式が行われるということで、当協会も招待されたものです。永井理事長、保坂常務理事、筆者（宍戸）が参加しました。

コスキン市と川俣町との交流の歴史は古く、50年にも及びますが、今回姉妹都市締結へと結実しました*。

公邸サロンに入ってまず驚いたのは、大型のスクリーンとプロジェクターが設置されていたことです。締結式では、オンラインで、東京の大使公邸・川俣町公会堂・コスキン市庁舎・コルドバ州当局・在亜山内日本大使など最大7か所が結ばれ同時中継されました。式典の開始時間が午後7時と、少々遅めだったのはアルゼンチン側の参加者に配慮したためだったとわかりました。



橋渡し役のエドゥアルド・テンポーネ駐日大使が見守る中、東京の大使公邸で川俣町の藤原一二町長が、またコスキン市の市庁舎でラウル・カルディナリ市長が、地球を挟んだ遙かな反対側で同時に協定書に署名する姿は感動的でした。



藤原町長が、「今後も友好の輪を育み、共に歩みを進めていく」と挨拶し、カルディナリ市長が「この協定が永年の団結の証しになると確信している」と返して、両者は永い友好を誓い合いました。



(ししど かずろう：当協会業務執行理事)

i

※ 両者の関係については、会報電子版『「全日本フォルクローレ・フェスティバル「コスキン・エン・ハポン 2024」開会式 参加報告』(本年10月)をご参照下さい。